

## 2012年「国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師」資格認定試験 及び合格証書授与式が行われました。



6月24日、創立記念大会での授与式の模様

2012年4月14日(土)、15日(日)の2日間にかけて、情報オアシス神田にて行われました、2012年「国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師」資格認定試験。

総勢 66名の受験生の方々の努力が実り、今年も数多くの国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師が誕生いたしました(次頁に一覧掲載)。

そして、今年が創立10周年という歴史的な年に相応しく、6月24日の創立10周年記念大会(第1部)にて、合格証書授与式を行いました。

合格者の皆様の中から代表者4名が壇上に上がり、数多くの先輩方に見守られつつ中国薬膳研究会常務理事である鷺見美智子先生から証書を授与されました。今回の合格者の皆様の、今後「国際薬膳師(士)」「国際薬膳調理師」としてのご活躍を大いに期待しております。



4月14、15日。情報オアシス神田にて行われた資格認定試験



### 「国際薬膳師」合格者代表挨拶より

中医薬膳師コース第15期生 名取 陽子

「国際薬膳師」証書の授与をありがとうございました。

まずは、これまでお世話になった劉海洋先生をはじめ平尾安基子先生、飯田和子先生、萬谷圭香先生、安里清子先生に大きな感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

そして、一緒に励ましあいながら勉強を共にしてきたクラスメイトの皆さん、また家での勉強を見守ってくれた家族にも感謝したいと思います。

入学前の私にとって中医薬膳学は、ほとんど未知の世界で、どんな授業なのだろう、そして薬膳料理実習も楽しみの一つで、期待感高まるワクワクしながらの授業スタートでした。

ところが、先生が当然のようにおっしゃる事がほとんど理解できず、取りあえずカタカナでノートに書き取り、後でクラスメイトにこれはどんな漢字かしら?と確認するような事態に呆然です。先生方は優しく、だんだんと分かってくるからと励ましてくれましたが、本当に理解できるようになるのだろうかと不安な気持ちでした。

宿題も、授業前のお知らせで「早めに提出してくださいね」と言われるたびに、早くしなければとあせる日々……。

そんなふうに半ば追い立てられるような感じでしたが、クラスメイトと励ましあいながらなんとか勉強を続けているうちに、あっという間にテストという現実がせまってきた、勉強にも熱が入ってきました。

中医薬膳学を学び始めてから、自分や家族の身体を注意深く観察するようになって、理論を実践することによって具体性が確認できた喜びもありました。

そうすると、それまで抽象的で分かったような分からなかったような事が、なんとなくパズルのピースが所定の位置にうまっていくような感じになってきました。

しかし、そうなってくるとまた新しく次々と疑問も出てきて、未だにパズルは完成してないのですが……。

卒業式で、劉先生が「皆さん、これからが勉強のスタートですよ。私も今も勉強中ですから。」とおっしゃった一言が心に残っています。

「国際薬膳師」という資格を得て、これが自己満足の形だけのものにならないよう、これからも勉強です。

先生方、そしてクラスメイトの皆さん、どうぞこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

